

# 最高裁に女性100人 何とかして低年金

年金引き下げは憲法違反、特に女性の低年金何とかがしてと「女性の最高裁要請行動」が取り組まれ、最高裁門前の集会和要請行動に取り組みました。集会には百人以上の女性が参加、京都からは中川美智子さん（長岡京支部）が「食べていけない年金を」と訴えました。

要請行動には中川さんと堀昭子さん（福知山支部）の2人も参加し「女性アンケート」のまとめ冊子を最高裁に届けることができました。

報告集会では要請行動について「子育てしながら働いてきたのに年金は低い」「80代でもトリプルワークする知人がいる」「貧しい家庭の子はずっと貧しい」と訴えたと話しました。

# 女性部だより

最高裁門前での集会



年金者組合  
京都府本部  
女性部発行  
2023年  
8月15日発行  
(第190号)

## 「たすけあい 介護サービス」

年金者組合員は介護保険制度を利用した福祉用具使用時の利用者負担分（1割）の助成を受けられます。ベッド、車いすなど13種類。まずは相談してください。

### 受付窓口

03-6256-8967

- ・全労連共済共済事業会
- ・日本フロンティアネットワーク

今野久子弁護士は「女性の低年金は構造的なもので自己責任ではない。政府は国連からは最低保障年金制度創設の勧告も受けている」と発言、憲法に基づいた判断をさせよう述べました。

会場からは「今の非正規で働く若者の年金は悲惨なものになるだろう。誰もが安心できる年金制度が必要」との発言があった。

ありました。

最後に中川滋子・中央女性部長が「きよの行動はみんなの力になった。引き続き運動を進めよう」と決意表明を行いました。京都府本部からは女性7人、男性1人が参加しました。

総会で退任された江黒・前女性部長からご挨拶が届きました。

私が府本部女性部のお手伝いをするようになって十年、当時は、部長と事務局長が女性部役員で、会計他は支部からのお手伝いでした。事務局長が退任の後、新事務局長が続かず結果大変事になりました。

本年の総会で女性部も四人の役員が決まり、楽しみです。八十歳で退任出来ると思いましたが、コロナが長引いたり、大腿部骨折で迷惑をかけたので、四年遅れの退任です。本部役員の皆様、各支部の皆様お世話になりました。ありがとうございます。

江黒泰子

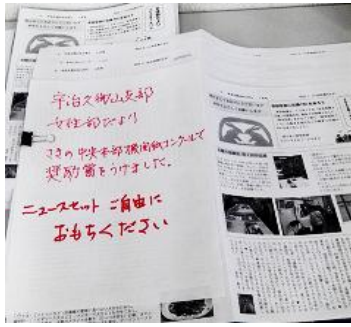
十年間、本当にお世話になりました。

京都代表団記念撮影



第23回女性部総会特集  
発言内容と持ち寄り展示

宇治久御山支部



亀岡支部



中京支部



綴喜支部



左京支部



向日支部

西京・大橋さん  
ジェンダー平等に本気で取り組んでほしい。全体で取り組まない、男性は関係ないからと読みもしない。

綴喜・内野さん

誕生日お祝い会を年4回開く。パソコン得意な人がカードを作り平均のプレゼント。今後は「青春18きっぷ」や「ひな祭り企画」をしたい。機関紙に女性部だよりとして女性2人ずつ紹介している。

北上・坂根さん

女性アンケートは支部として取り組み、回答は前回と比較してグラフも作った。これを基にして学習会をしたい。80歳以上の女性を委員が分担して訪問し機関紙に載せている。

右京・守屋さん

「財産管理」「高齢者の生活と介護サービス」など学習会をしている。独居や病気がちの人をどう支援すればいいか考えている。少子化対策には賃上げを望む。

宇治久御山・亀井さん

「山城医療健康まつり」では手作り品を販売。今は小学校の学区単位で班活動。移動の足がなくて困っている。「独居になったらどうする」の学習会をする。

相楽・酒井さん

アンケートを書いてもらうことはできた。回答を読んで気になった人がいたが、結局何もできていない。しかし、伏見の十石船には13人が参加し、9月には原発の学習会をする予定。

向日・田中さん

女性役員で誕生日プレゼントを折紙などで作っている。サークル増やしたいが、60歳を過ぎても働く人が多い。年金増やして、会議に参加できるようにしたい。年金増やすために賃金を上げよう。

中京・森さん

編み物とちぎり絵のサークルを始めた。月1で交互にしている。でもなかなか集まる場所がない。みんなはどのようになっている？

東山・倉田さん

女性部の予算が減っているのはなぜ？↓組合員減少で親組合予算も減っている。仲間増やしが必要。

左京・中川さん

女性が中心の支部だが全体が高齢化。動物園、植物園、深泥池、疏水周辺の散策などしている。アンケートは若い人たちが集計してくれた。これからは仲間増やしを訴えたい。

南・畑山さん

新しいサークルをしたい。女性役員で新しい体制作りを考えている。アンケートは貴重な回答があり、どのように解決していこうか、学習会をしようか考えている。



城陽支部



東山支部



北上支部

宮津与謝・片山さん  
女性は病気や家族の介護で動ける人は少ないし、他団体の役を持っている人も多い。全体に高齢化で役員を引き受け手ない。



南支部

城陽・牧野さん  
サークルで加入する人が多い。手作りの会には22人も参加している。アンケートは全体を知ることができ良かった。集まっておしゃべりしたいがどう進めていくか考えている。

船井・山本さん  
女性部はないがお出かけやランチ会で交流している。要望や困りごととはみんなに知らせている。山陰線は亀岡以北は不便。周辺には大学があり若い人たちが巻き込んで改善に取り組みたい。

下京・西脇さん  
いまは高齢者と子育て世代が分断させられている。協力して変えないと年金も上がらない。少しずつ前進したい。



長岡京支部

八幡・桂田さん  
「八幡をよく知ろう」サークルで散歩をしていたが、歩くのが大変になり、現在は休止中。何かやりたいと思いつつ、今は仕事で手いっぱい。

福知山・堀さん  
女性部はないが、若手を登用し、機関紙で仲間のきずな強めたいと、原稿を書いてもらい字も大きかったです。サークルは8つあって女性が多い。

伏見・有本さん  
コロナ前は傘寿のお祝い、春秋のお出かけ、ランチ会、歌声などしていたが、中心メンバーが亡くなってしまい活動が止まっている。少しずつ前に進みたい。



山科支部

丹後・荒田さん  
女性部として80歳以上の方たちに敬老プレゼント(手作り品)。春の遠足で舞鶴や福知山へ行き、秋にも遠足を予定している。独自行動は少ないが、様々な組合、団体と連携している。

長岡京・猪儀さん  
アンケートはサークルを中心に回収、入っていない方は訪問し、結果、期せずしてココの繋がりが強まった。女性が集まるとおしゃべりで要求がたくさん出てくるので順番をつけて行動している。



伏見支部

山科・高畑さん  
30年ほど前、スカートの制服が嫌で体操服で通学していた女子高生が、成人式直後に自殺してしまった。現在ならLGBTもおかしなことではないが、当時は仕方なかったのかと今でも思い出される。

亀岡・高向さん  
女性が「お誕生日おめでとう」と75歳以上の方たちに手作り品を贈っている。女性はおしゃべりすることが好きだから、4班に分かれて食事や花見、ゲーム、歌声喫茶を楽しんでいる。



舞鶴支部

「おしゃべり力」おさそい  
力」を仲間づくりにし！」

女性部総会で「女性の仲間づくり力はどうですか？」と質問が  
出ました。お答えします。  
2022年度1年間の京都府での  
仲間づくりは320人、  
うち女性は196人。  
61・3%

とくにたくさんさんのサークル活動や旅行などの楽しいとりくみが多い支部は、女性の増加率が高いのです。  
広くお誘いし、生き生き人生へ、おおいに仲間をふやしましょう。

近畿ブロック  
女性のつどい in 滋賀

日時 10月4日(水) 午後  
会場 草津キラリエ  
5階大会議室  
講演 「食の問題から  
平和を考える」  
山崎万里さん  
(家庭栄養研究会顧問)  
活動交流  
多数ご参加ください。



映画「島守の塔」  
鑑賞会

第2次世界大戦末期、沖縄戦が始まり  
県民4人に1人が亡くなりました。「鉄  
の暴風」と言われた激しい空襲、艦砲射  
撃、地上戦のなか、「生き抜け」と住民  
を励ました官僚や、苦悩する人々の物語  
です。  
ヒロシマ、ナガサキに原爆が落とされ  
終戦を迎えた8月にふさわしい映画とし  
て、府本部女性部もそろって鑑賞しまし  
た。お2人の感想です。

県民20万人が犠牲になった地上戦。沖縄県知事として赴任し、  
軍の命令に従いながらも苦悩し、  
県民疎開、保護に尽くした島田勲  
(あきら)さん。毎日毎日空襲の  
音、死体の数、川の水も血に染ま  
り流れてくる。沖縄語を使うとス  
パイといわれ、それでも島田さん  
は、こんな時だからこそ、歌で少  
しでも明るく♪てるてる坊主と  
する坊主 あしたの元気にしておくれ  
と皆を元気づけ、命の大切さ、生  
きてくれと。島田さんのお世話役  
の凛(りん)さんも生きていた。  
島田さんを祀る塔の前で「私、生  
きましたよ」と告げた場面には涙  
が出ます。戦争しても、悲しみや  
傷が深く残るだけです。(高橋)

沖縄戦で米軍が上陸するかも  
と思われていた時期、県知  
事の辞令を受けた島田勲。反  
対する家族に「俺が行かなん  
だら誰かが行かなならんやな  
いか」「俺は死にとうないか  
ら誰かに行つて死ねとはよう  
言わん」と家族を残し沖縄に  
赴任しました。県知事として  
軍の命令に従いながらも、県  
民の戦闘参加や学徒隊召集が  
求められ苦悩する。県民を守  
るために異議申し立ても。戦  
火が激しくなるに伴い、必死  
で食料確保や県民疎開に尽力

したことを初めて知りまし  
た。さらに部下たちに「命  
どう宝、生き抜け」と県庁  
を解散、世話役の凛さんに  
は「君は君の人生を生きる  
のだ、もう帰りなさい」と。  
多くの犠牲者を見てきたか  
らこそ、死者の無念さが見  
えたのでしよう。「命の大  
切さ」を後世に伝えたかつ  
たと思います。戦争は再び  
あってはならない。残酷な  
時代は終わりにしよう。

(西田)